



暦の上では春を迎えていますが、厳しい冷え込みに霜柱が立ったり、水路に残った水溜まりに氷が張ったり、まだまだ寒い日が続いていますね。感染症の流行もまだ続いているので、体調管理には十分お気をつけください。今月も、元気いっぱいみなさんにお会いできることを楽しみにしています。



2月2日は節分です。小さな子どもにとっては、鬼がくる怖い日というイメージもあるかもしれません。今では、豆まきの仕方は各家庭や各幼稚園・保育園でも異なり、鬼が登場しなかったり、自分の中の鬼、例えば「泣き虫鬼」や「おこりんぼ鬼」をやっつけたり…というようにやり方は様々です。本校の幼稚部では、実際に先生が七輪でいわしを焼いて、鬼の苦手な匂いを体験します。この時期だからこそ耳にする言葉「やいかがし」、「ます」（豆を入れるもの）、「ひいらぎ」なども実際に見て、確認します。

ついつい、「ママのおはなしを聞かないと鬼が来ちゃうよ、悪いことしていたら鬼がきちゃうよ」と言ってしまうこともあると思いますが、怖がらせたり、泣かせたりして終わりではなく、お子さんに合わせて分かりやすく話をしたり、体験したりして、子どもも大人も一緒に楽しめると思います。



★2月のグループ★

2歳児グループ：6日（木）お遊戯会のリハーサル

14日（金）お遊戯会

20日（木）27日（木）

0・1歳児グループ：12日（水）26日（水）

☆手話勉強会☆：25日（火）…今年度最後の勉強会です。

*いずれも10：00～11：30

★3月のグループ★（予定）

2歳児グループ：21日（金）

0・1歳児グループ：5日（水）19日（水）

*いずれも10：00～11：30

☆冬の補聴器の電池のお話☆

冬になると、寒さや乾燥により電池の消耗が早くなったり、補聴器が冷たい電池を正常に認識せずに、電池を入れてもすぐに音が聞こえなかったりすることもあります。電池を入れる前には、少し待ってみたり、手で電池を10秒ほど温めてみたりしてから補聴器に入れるとよいです。また外に出掛ける時には、体温が逃げないようにマフラーや帽子をかぶるのも電池消費対策になります。



♪季節を感じながら様々なことばに触れましょう♪

外に出ると寒いこの時期にしか見られないものがたくさん見つかります。朝早い時間に、土の部分を見ると霜柱があります。土から氷が出ていてとてもきれいです。踏むとサクサクしていて面白いです。本校の幼稚部の園庭の花壇付近でも、寒い日には霜柱を見つけることができます。是非探してみてください。また、お子さんと一緒に、バケツに少し水を汲んで、外に出してみてください。次の日の朝になると凍っています。水が冷たく硬い氷になったことや、この氷を部屋の中に入れて置いておくとまた水になることを実際に見ることで「不思議」という気持ちになります。雪が降った時にも、雪の塊を部屋に入れると溶けてなくなります。絵本やお話、テレビでもこのような場面が出てきますが、大人にとっては当たり前のことです。しかし子供にとっては、どうでしょう。実際に経験してイメージをもてるようになれば、雪が溶けてなくなるという面白さもよく分かるようになります。後に学校で学ぶ生活科や理科への興味にもつながっていきます。是非、お子さんと一緒に「不思議」な経験をして欲しいと思います。

